

## 4. 財政上・税制上の特別措置等

### 4-1 財政上の特別措置

首都圏、近畿圏及び中部圏の均衡ある発展を図るため、各圏の近郊整備地帯、都市開発区域等については、整備計画、建設計画に基づき、計画的な市街化、住居都市・工業都市等としての開発整備が進められている。

これらの整備に要する経費は膨大な額にのぼり関係地方公共団体の負担も相当なものになる。そこで、整備計画等の円滑な実施を図り、首都圏等の均衡ある発展に資するため、「首都圏、近畿圏及び中部圏の近郊整備地帯等の整備のための国の財政上の特別措置に関する法律」（首都圏等財特法）により、

- ① 都府県に対する起債の充当率のかさ上げ及び利子補給
- ② 市町村に対する補助率のかさ上げ

が行われてきた。

しかしながら、こうした財特制度の利用実績についてみると、例えば、市町村への国庫補助負担率のかさ上げについては、ピークである昭和54年度は三圏の合計額が約489億円であったところ、平成18年度には約3億円と大きく低減していることなどから、当該財特制度の適用期間の延長をしないこととした。

これまでの財特制度延長の経緯及び利用実績は次に掲げるとおりとなっている。

#### 《参考1》首都圏等財特法の経緯

昭和41年	7月	2日	制定（期間10年間）
45年	3月	24日	対象地域として中部圏を追加
51年	5月	15日	適用期間延長（5年間）
56年	3月	31日	内容を見直し、適用期間延長（5年間）
61年	5月	15日	内容を見直し、適用期間延長（5年間）
平成3年	5月	1日	内容を見直し、適用期間延長（5年間）
8年	3月	31日	内容を見直し、適用期間延長（5年間）
13年	3月	27日	適用期間延長（5年間）
18年	3月	31日	内容を見直し、適用期間延長（2年間）
20年	3月	31日	適用期間非延長

《参考2》特別措置の実績

(単位:百万円)

年度	首 都 圏			近 畿 圏			中 部 圏			合 計		
	首 都 圏		利 補 給 金 額	近 畿 圏		利 補 給 金 額	中 部 圏		利 補 給 金 額	合 計		利 補 給 金 額
	首 都 圏 等 債 券 行 額	う ち か さ 上 げ 額		首 都 圏 等 債 券 行 額	う ち か さ 上 げ 額		首 都 圏 等 債 券 行 額	う ち か さ 上 げ 額		首 都 圏 等 債 券 行 額	う ち か さ 上 げ 額	
昭和41	2,364	1,047	619	3,503	1,570	1,047	—	5,867	2,617	—	1,666	
昭和42	2,105	968	979	4,053	2,002	1,214	—	6,158	2,970	15	2,193	
昭和43	2,678	1,128	732	4,699	2,364	835	—	7,377	3,492	51	1,567	
昭和44	3,172	1,297	679	7,272	4,116	1,267	—	13,000	6,557	99	2,523	
昭和45	3,032	1,647	1,185	6,419	2,890	1,385	18	12,928	6,456	181	3,385	
昭和46	7,229	4,548	3,266	8,110	4,291	4,148	54	21,039	12,523	286	8,682	
昭和47	11,933	8,784	5,439	13,197	7,740	4,824	98	32,938	21,953	431	13,385	
昭和48	8,328	6,680	2,27	7,117	4,795	4,619	175	23,540	16,645	702	11,617	
昭和49	6,768	4,219	336	10,159	5,190	4,146	266	23,970	12,818	1,032	8,408	
昭和50	8,032	4,121	479	5,218	3,206	7,280	368	20,177	10,463	1,412	14,987	
昭和51	6,476	3,449	604	7,747	3,470	6,795	446	21,503	10,753	1,731	21,977	
昭和52	10,139	5,450	821	10,636	5,031	12,059	528	30,737	16,047	2,110	29,977	
昭和53	13,159	6,457	1,002	13,871	6,912	16,381	633	34,913	18,108	2,481	41,008	
昭和54	15,383	8,912	1,219	10,893	5,045	18,422	786	38,308	20,868	3,005	48,898	
昭和55	13,468	7,056	1,388	9,655	3,944	17,321	943	31,815	15,535	3,497	45,229	
昭和56	16,834	7,511	1,495	8,737	3,314	13,652	934	34,051	14,909	3,593	34,681	
昭和57	9,747	4,960	1,542	6,752	2,766	8,416	955	23,235	10,932	3,632	19,132	
昭和58	10,200	4,980	1,529	9,251	3,841	7,386	908	25,176	11,464	3,538	16,519	
昭和59	9,425	4,182	1,541	8,954	4,168	5,767	856	23,188	10,553	3,490	14,059	
昭和60	7,046	2,559	1,505	8,446	4,201	4,516	1,051	21,298	9,495	3,340	9,615	
昭和61	6,806	2,559	1,369	8,768	4,504	3,065	696	22,050	10,569	3,062	5,853	
昭和62	10,020	5,014	1,000	10,687	5,715	4,002	502	22,050	17,840	2,268	8,262	
昭和63	9,443	4,321	732	12,019	6,472	1,922	367	30,137	15,508	1,673	4,705	
平成元	8,351	2,870	499	11,340	5,513	1,875	269	27,768	12,343	1,195	3,930	
平成2	9,407	3,931	422	14,094	7,247	1,776	242	30,279	14,458	1,025	3,217	
平成3	9,196	3,801	215	11,290	5,737	990	161	27,603	13,332	545	1,549	
平成4	13,961	7,079	678	19,770	10,584	3,060	187	45,276	25,146	589	4,518	
平成5	26,984	16,061	1,198	27,239	13,733	4,078	172	70,751	39,780	545	7,931	
平成6	15,885	8,197	162	16,681	7,707	1,289	147	44,452	22,224	459	2,652	
平成7	36,339	23,320	380	36,047	18,230	4,887	74	99,111	56,363	246	8,269	
平成8	21,895	11,622	246	22,862	9,716	1,131	28	57,653	28,964	61	2,277	
平成9	17,480	9,065	169	21,733	9,552	2,123	0	46,521	21,993	0	2,113	
平成10	28,024	19,335	594	25,966	12,956	3,903	0	77,235	46,407	0	6,584	
平成11	17,481	9,808	201	16,513	6,976	1,758	0	46,512	7,526	0	2,841	
平成12	11,802	1,856	85	8,218	521	1,539	0	32,161	3,407	0	2,715	
平成13	10,190	2,505	354	6,210	100	1,580	0	22,250	3,602	0	4,084	
平成14	9,512	4,088	480	6,074	0	1,073	0	20,968	5,055	0	3,126	
平成15	5,715	3,470	455	6,807	246	664	0	16,212	3,859	0	1,725	
平成16	4,269	2,936	42	2,848	196	645	0	9,245	3,856	0	1,224	
平成17	2,832	1,942	98	1,846	138	366	0	6,503	3,203	0	751	
平成18	112	0	21	2,299	299	249	0	6,157	0	0	283	
平成19	32	0	16	3,118	0	145	0	6,406	0	0	231	

資料:総務省調べ

注:近畿、中部両圏に重複する福井、三重及び滋賀の三県は、近畿圏に含まれている。  
:19年度までの時限措置のため、20年度以降の新規かさ上げや起債は行われていない。



価額の合計額が 10 億円を超え、また事業の用に供したことに伴って増加する雇用者の数が 50 人を超える工場

### 3. 関西文化学術研究都市関係の課税の特例措置

関西文化学術研究都市の建設を促進するため、以下のような課税の特例措置が講じられている。

#### (1) 文化学術研究施設

##### ① 国 税

- ・法人税（特別償却） 普通償却に加え特別償却が認められる。  
建物及び附属設備 6/100 機械及び装置 12/100

#### (2) 文化学術研究交流施設

##### ① 地方税

- ・地価税 非課税

#### (3) 関西文化学術研究都市推進機構への寄付金に係る課税の特別措置

- ・個人 寄付金控除
- ・法人 損金算入限度額の特例

### 4. 大深度地下利用関係の課税の特別措置

公共の利益となる事業による大深度地下の使用に関し、当該事業の円滑な遂行と大深度地下の適正かつ合理的な利用を促進するため、大深度法による使用権の設定に伴い、資産を取りこわし又は除去しなければならなくなった場合で、補償金等を取得したとき、以下の課税の特別措置が講じられている。

- (1) 代替資産を取得した場合の課税の繰延べ
- (2) 5,000 万円特別控除
- (3) 移転等の支出に充てるための交付金の総収入金額不算入

### 5. 特別土地保有税の非課税

三圏の都市開発区域においては、取得価額が 8 億円を超え、かつ増加雇用者数が 50 人を超える製造用設備に係る工場用敷地に対して、市町村は特別土地保有税を課することができないとされており（地方税法第 586 条）、首都圏の都市開発区域においては、その適用期限が区域指定の日から 3 年間とされている。

また、工業団地造成事業の施行者が当該事業の用に供するために取得した土地についても特別土地保有税は非課税とされている。

なお、平成 15 年度税制改正において、特別土地保有税については、平成 15 年度以降、課税は行わないものとされた。

《参考3》都市開発区域に係る不均一課税に伴う減収補填措置の実績

(単位：千円)

年度	三 圏		首 都 圏		近 畿 圏		中 部 圏		計
	計	都 県	市町村	計	府 県	市町村	計	県	
昭 42	15,477				10,763	4,714	15,477		
43	70,150		1,255	1,255	66,405	2,490	68,895		
44	43,799		4,115	10,281	28,672	4,846	33,518		
45	124,656	6,166	18,789	45,212	52,252	19,857	72,109	4,294	3,041
46	156,207	2,233	22,533	24,766	56,148	20,273	76,421	9,578	45,442
47	176,630	25,506	21,027	46,533	34,361	22,556	56,917	14,104	59,076
48	87,763	10,543	7,547	18,090	20,995	8,197	18,667	2,569	48,437
49	87,867	8,726	2,280	11,006	20,995	24,491	45,486	11,299	40,076
50	161,861	4,785		4,785	52,182	54,619	106,801	5,781	44,494
51	83,161				8,856	35,304	44,160	16,795	22,206
52	69,498				6,276	35,813	42,089		27,409
53	26,877				3,260	11,621	14,881	1,665	10,331
54	53,996				22,515	13,568	36,083		17,913
55	58,129			11,576		26,417	26,417	8,422	11,714
56	40,247				17,855	17,663	35,518		4,729
57	29,851					13,715	13,715		16,136
58	88,384				42,841	11,793	54,634	2,623	31,127
59	200,004				126,604	47,381	173,985	4,715	21,304
60	290,554				20,063	235,998	256,061	8,769	25,724
61	359,099				148,200	62,167	210,367	60,465	88,267
62	236,607				90,168	28,525	118,693	26,416	32,541
63	104,850				39,269	12,362	51,631	20,673	32,546
平 元	149,578				36,539	51,065	87,604	1,699	60,275
2	233,494				124,778	58,822	183,600		49,894
3	214,379				46,307	60,121	106,428	5,797	102,154
4	467,522				112,382	43,107	155,489	11,555	300,478
5	405,559				58,079	27,213	85,292	65,506	320,267
6	360,381				39,623	35,733	75,356	52,457	232,568
7	191,088				30,810	13,570	44,380	47,666	146,708
8	139,387					25,049	25,049		99,042
9	149,470				13,806	8,506	22,312	72,524	114,338
10	111,758					49,228	49,228	24,848	54,634
11	234,892				106,628	51,686	158,314	22,935	37,682
12	213,204				12,074	72,126	84,200	45,920	53,643
13	153,552					86,348	86,482	83,084	67,070
14	202,417				55,481	52,498	107,979	67,137	27,301
15	113,796				17,136	16,620	33,756	73,368	6,672
16	55,565					11,076	11,076	42,496	1,993
17	23,434					3,842	3,842		19,592
18	108,210					70,787	70,787		37,423
19	64,114				26,044	27,817	53,861		10,253
20	112,845				39,903	14,634	54,537	38,002	20,306
21	101,727				7,900	2,131	10,031	48,218	43,478
22	141,605				63,968	1,011	64,979	19,829	56,797
23	22,401								22,401
24	75,659				16,226	44,247	60,473		15,186
25	10,285					5,249	5,249		5,036

資料：総務省調べ